

報道機関 各位

7月25日からの大雨にかかる災害リハビリテーション支援活動について

山形県は、7月25日からの大雨災害により避難生活の長期化に伴う被災者、要配慮者の健康状態悪化を防止するため、山形大学医学部及び山形大学医学部附属病院の協力のもと、山形県災害リハビリテーション推進協議会(やまがた JRAT)と協定を締結し、避難所等における被災者、要配慮者に対する支援活動を行いますのでお知らせします。

記

活動予定期間 令和6年8月15日(木)～(避難所等において支援を要する期間)

活動の頻度 概ね1週間に1日程度

活動チーム数 2チーム(派遣チーム数は、状況により判断)

1チーム人員: 概ね5名(支援内容により編成する)

構成員: 医師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士

活動場所 酒田市及び戸沢村内の各避難所等

主な活動 リハビリテーション医学及び医療の視点から関連専門職による避難所等の環境評価、エコノミー症候群などの災害関連疾患、生活不活発病の予防、口腔内衛生の保持や摂食嚥下に関すること など

【参考】やまがた JRAT の概要

名称	山形県災害リハビリテーション推進協議会(やまがた JRAT)
代表者	本部長 高木 理彰(山形大学医学部整形外科学講座 教授)
構成団体	山形県作業療法士会、山形県理学療法士会、山形県言語聴覚士会、山形県介護支援専門員協会
事務局	山形大学医学部附属病院 リハビリテーション部 内

【問合せ先】

健康福祉部高齢者支援課

課長補佐(地域包括ケア推進担当) 高橋 加寿子

電話 023-630-3277

報道監 健康福祉部次長 菅原 正春